

科目名	精神看護援助論Ⅰ (疾患・診断・治療)	分野/教育内容	専門分野/精神看護学
開講年次・時期	2年前期 令和5年4月18日	単位数/時間	1単位/30時間 以下の①②を合わせて1単位 ①疾患・診断・治療（中村先生）：15時間 ②検査・精神障害（山本先生）：15時間
担当講師名	中村 正彦 先生	所属・役職	宮古山口病院・副院長
		資格・免許	精神保健指定医 日本精神神経学会認定専門医・指導医
授業の概要	心の健康問題および、精神疾患について理解することをねらいとする。 さらに主な疾患の症状、治療法などを理解する。		
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・精神障害の診断と分類、それに基づく様々な精神障害について理解する。 ・主な精神疾患の症状、治療について理解する。 		
事前学習内容	・学習内容について事前に教科書に目を通してから講義に臨むこと		
成績評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> ・筆記試験（100点満点）による評価 ・下記①②の平均点が科目の成績評価となる。それぞれ6割に満たない場合は再試験となる。 <p>①疾患・診断・治療（中村先生）：100点 ②検査・精神障害（山本先生）：100点</p>		
使用テキスト	医学書院 精神看護の基礎 第6版 第2刷（ <u>第5章・6章</u> ）		
授業回数	授業概要(主な学習内容)		授業形態
第1回	統合失調症の症状、治療		講義
第2回	気分〔感情〕障害の症状・治療（1）		講義
第3回	気分〔感情〕障害の症状・治療（2） 神経症性障害総論		講義
第4回	神経症性障害各論		講義
第5回	精神作用物質使用による精神および行動の障害 (アルコール依存症の症状、治療など)		講義
第6回	各発達段階であらわれやすい精神障害（1） 認知症 ほか		講義
第7回	各発達段階であらわれやすい精神障害（2） 発達障害、パーソナリティ障害		講義
履修上の留意点	不明な点はそのままにせず質問するなど、積極的に知識の習得に努めること。		

令和 5 年度 60 回生 授業概要

科目名	精神看護援助論 I 検査・精神障害	分野/教育内容	専門分野/精神看護学
開講年次・時期	2 年後期 令和 5 年 11 月 24 日	単位数/時間	1 単位/30 時間 以下の 2 単元で構成される ①疾患・診断・治療（医 師）：15 時間 ②検査・精神障害（山本先生）：15 時間
担当講師名	山本 貴胤	所属・職位	公認心理師長
		資格・免許	公認心理師、臨床心理士
授業の概要	こころのはたらきとしくみについて、生理学的・心理学的・社会的側面から学ぶ。 代表的な心理検査と、精神療法の考え方を学ぶ。		
到達目標	1. こころのはたらきについて、生理学的・心理学的・社会的側面から理解する。 2. こころの健康に影響を及ぼす様々な要因について理解できる 3. 心理検査の概要がわかる 4. 精神療法の概要がわかる		
成績評価の方法	・筆記試験（100 点満点）による評価 ・2 単元の平均点が科目の成績評価となる。それぞれ 6 割に満たない場合再試験となる。 ①疾患・診断・治療（医 師）：100 点 ②検査・精神障害（山本先生）：100 点		
使用テキスト	医学書院 精神看護の基礎 第 6 版 第 2 刷 医学書院 精神看護の展開 第 6 版 第 2 刷		
授業回数	授業概要(主な学習内容)		授業形態
第 1 回	こころのはたらき：意識、認知機能、感情、学習、知能 (基礎第 3 章)		講義
第 2 回	心理的特性をはかる検査 (基礎第 3 章)		講義
第 3 回	こころの仕組みと人格の発達、こころの理論 (基礎第 3 章)		講義
第 4 回	関係の中の人間 (1) (基礎第 4 章)		講義
第 5 回	関係の中の人間 (2) (基礎第 4 章)		講義
第 6 回	心理・社会的治療 (1)：精神療法(個人・集団) (基礎第 6 章：P239～265)		講義
第 7 回	心理・社会的治療 (2)：認知行動療法、生活技能訓練 (SST) (展開第 9 章 P100～112)		講義
履修上の留意点	普段から精神保健関係の事象に関心をもち、わからないことや知りたいことがあれば遠慮なく質問し、積極的に知識の習得に努めること。		

令和5年度 第60回生授業概要（シラバス）

科目名		精神看護援助論Ⅱ	分野/教育内容	専門分野 / 精神看護学		
開講年次・時期		2年後期 令和5年11月16日	単位数/時間	1 単位/30 時間 2 名の講師が担当 佐々木武志先生 : 20 時間 佐々木 直先生 : 10 時間		
担当講師名		佐々木 武志先生	所属・職位	宮古山口病院		
			資格・免許	看護師		
		佐々木 直 先生	所属・職位	三陸病院		
			資格・免許	看護師		
授業の概要		心の健康問題および、精神を病む人の看護の原則および方法について理解することをねらいとする				
到達目標		1. 精神科に多い身体合併症とその看護、精神科で行われることが多い日常的な身体のケアの実際を理解する。 2. 電気けいれん療法や薬物療法などの治療を受ける患者の看護を理解する。 3. 主な精神疾患・精神症状に応じた看護援助について理解する。 4. 統合失調症患者の事例を通して必要な看護を考えることができる。 5. 回復過程における入院治療の意味や、患者の回復を促す治療的環境を理解する。 6. 精神科におけるリスクマネジメントについて理解する。				
成績評価の方法		・試験による評価 佐々木武志先生 担当分：70 点 佐々木 直先生 担当分：30 点 ※2名の講師合わせて100点満点で6割に満たない場合は再試験				
使用テキスト		医学書院 精神看護の展開 精神看護学2 第6版第2刷				
講師	授業回数	授業概要(主な学習内容)		テキストの 該当箇所	授業形態	
佐々木武志先生	第1回	精神科における身体のケア：第12章 (1) 身体のケアがもつ意味 (2) 患者の回復段階に応じた身体のケア (3) 日常生活における身体ケア（睡眠のケアも含む）		p 256～282	講義	
	第2回	精神科における身体のケア：第12章 ・精神科の治療（薬物療法・電気けいれん療法）を受ける患者の看護		p 283～297	講義	
	第3回	精神科における身体のケア：第12章 (1) 身体合併症 (2) 精神科における終末期ケア		p 298～309	講義	
	第4回	症状マネジメント		配布資料 を使用	講義	
	第5回	統合失調症患者の看護			講義	
	第6回	気分〔感情〕障害患者の看護			講義	
	第7回	パーソナリティ障害患者の看護			講義	
	第8回	アディクションの問題をもつ患者の看護			講義	
	第9回	統合失調症の事例を用いて看護過程の展開（アセスメント・看護計画立案）			演習	
	第10回					
佐々木直先生	第1回	入院治療の目的と意味、入院形態：第11章		p196～209	講義	
	第2回	精神科病院の機能と精神科病棟の特徴：第11章		p209～223	講義	
	第3回	回復を促す治療的環境 : 第11章		p223～235	講義	
	第4回	安全な治療環境の提供：第13章		p312～323	講義	
	第5回	自殺・攻撃的行動・暴力の予防と対処、無断離院:第13章		p323～348	講義	
履修上の留意点		・事前に教科書の該当箇所に目を通してから講義に臨むこと ・2名の講師の授業が平行して入ることになるため、随時シラバスで確認しながら予習を進める ・不明な点はそのままにせず質問するなど、積極的に知識の習得に努めること				

令和5年度 60回生 授業概要

科目名	精神看護援助論Ⅲ	分野/教育内容	専門分野/精神看護学	
開講年次・時期	2 年後期 令和 6 年 12 月 3 日	単位数/時間	1 単位/15 時間	
担当講師名	小成 祐介 先生	所属・役職	株式会社いちから 訪問看護ステーションみそら宮古 所長	
		資格・免許	WRAP ファシリテーター・精神科認定看護師	
授業の概要	精神疾患や精神障害をもつ対象が、その人らしく地域で生活していくための支援について学ぶ			
到達目標	1．精神医療におけるリハビリテーションの意味を理解できる 2．精神しょうがい者の地域生活を支える保健・医療・福祉について理解できる			
成績評価の方法	筆記試験 100 点			
使用テキスト	医学書院 精神看護の展開 精神看護学2 第6版第3刷			
授業回数	授業概要(主な学習内容)		教科書の 該当箇所	授業形態
第 1 回	精神保健活動とリハビリテーション（1） 第 9 章		p 94～113	講義
第 2 回	精神保健活動とリハビリテーション（2） 第 9 章		p 94～113	講義
第 3 回	長期入院患者の地域移行への支援、多職種連携（1） 第 10 章		p 150～178	講義
第 4 回	長期入院患者の地域移行への支援、多職種連携（2） 第 10 章		p 150～178	講義
第 5 回	患者とともに暮らす家族への支援 第 10 章		p 150～178	講義
第 6 回	地域で暮らす精神疾患患者の生活を支えるための社会資源 第 10 章		p 116～150	講義
第 7 回	地域で暮らす精神疾患患者の生活を支える保健医療福祉 活動の実際 ①就業継続支援の実際 ②自立生活支援の実際 ③福祉推進ネットの活動 ほか		p 116～150	講義
履修上の留意点	・各自が積極的に授業に参加する ・シラバスに示しているテキストの範囲を、各講義前までに読んでおくこと			